

ミステリ読書案内

2024. 10. 15 発行元

第610号 伊藤 剛

<https://mystery-dokuan.com>

草野唯雄「ベスト表」(再掲)

1980年代頃、サスペンスに溢れた作品を数多く残した草野唯雄。その『ベスト表』を再度取り上げてみることにした。中堅どころの上手な書き手だったのだが、現在は忘れられつつあるように感じられる。

図書館からも消えてしまった

草野唯雄。読みは「そうのただお」である。現在ブックオフなどで見かけることは少ない。図書館でもほんの数冊が閉架書庫に納まっているくらいだ。忘れ去られつつある作家の一人だと思う。私が草野唯雄を読むのは学生時代からの馴染みだから。「著書全冊読もう」なんて考えるのも長年親しんできたからの発想。昭和の読者だなあ。

当時は中堅どころのミステリ作

家で、何冊かは世の中の話題に上がり、それなりに売っていたような気がする。サスペンスが中心とは言え、トリックもよく考えられており、『ベスト表』上位の数冊は傑作に仕上がっていると思う。現在の若者が読む機会は少ないだろうなあ。

『山口線“貴婦人号”』は列車ミステリの号で取り上げたので、今回は『「はやぶさ」は止まった』と連作短編集の『女鑑識官』の二冊を取り上げてみることにした。電子書籍はすぐに見ることができるようだ。

「「はやぶさ」は止まった」

1982年トクマノベルス。

『山口線“貴婦人号”』と並ぶトラベルミステリの傑作。舞台は福岡県久留米駅を出た直後の鉄橋の上。寝台特急はやぶさにATSシステムのブレーキがかかり、停車した。JR以前のまだ国鉄だった時代の話。

物語は、ある政治家のお抱え運転手をしている宇都宮篤が郷里の福岡県赤池に帰って来るところから始まる。炭鉱が閉鎖して落ちぶれた生活に追い込まれていた叔父とその仲間に「ある計画話」を持ち込んだ。列車を止めて身代金を奪うという大がかりな計画。鉄橋の上に止まった「はやぶさ」はダイナマイトと拳銃で武装した黒覆面の一味に制圧された。列車の中には自由党幹事長と運輸政務次官が乗り合わせており、犯人たちは現金五億円とヘリコプターを要求した。当時の日本ミステリとしてはスケールの大きなクライムノベルで、「サスペンスの草野」の本領発揮の一冊。事件の推移と政治的な背景の抱える問題は…。

「女鑑識官」

1989年光文社文庫書下ろし。本書の

後『狙われた女鑑識官』『危うし女鑑識官』とシリーズ化されている。5編収録の短編集。元交通係だった志賀洋子は、鑑識課長に見出されて鑑識官となり、多くの現場で鋭い観察眼を発揮するのだった。

第一話の『返り血』は、鉄道の踏切事故。電車が衝突した車の中には一人の男が乗っていた。すでに死亡しており、バールでこじ開けないと外に出すことはできなかった。頭の部分と体の前の部分に付いている血液の具合が変に感じられたので鑑識が呼ばれることになった。調べてみると頭の血は本人のB型。体についている血は他人のAB型と判明した。車のドアはロックされており、更にロックキーが破壊されているという念の入れようだった。一見、自殺のようにも見えるのだが…。鑑識で得られた情報にプラスして洋子の勘が働くかどうか…。

《草野唯雄作品のベスト表》

1. 山口線“貴婦人号”
2. 「はやぶさ」は止まった
3. 蔵王山荘連続殺人事件
4. 怨霊島
5. ハラハラ刑事一発逆転
6. 警視泥棒
7. 瀬戸内海殺人事件
8. 自首願望
9. クルーザー殺人事件
10. 死の舞踏
11. 北リアス海岸殺人事件
12. 塩原殺人行(短)
13. 観音崎灯台不連続殺人事件
14. 越後恋歌殺人譚
15. 抹殺の意志
16. もう一人の乗客
17. 支笏湖殺人事件
18. 見えない罠
19. 磐梯高原殺人事件(短)
20. 丹後鳴き砂殺人事件
21. 阿い字え於殺人事件
22. 街は狙われた
23. 喝采
24. 殺意の焦点
25. 紀ノ国殺人迷路
26. 死霊鉱山
27. 京都殺人風景
28. ラスト・チャンス(短)
29. 会津・米沢復讐回路
30. 伊豆密会旅行殺人事件
31. 偽装死体
32. 標的にされた男
33. 女鑑識官(短)
34. 殺人交響曲(短)
35. 殺意の岐路
36. 毒殺鑑識官(短)
37. 鹿島臨海殺人悲曲
38. 危うし女鑑識官(短)
39. 録音テープ殺人事件(短)
40. 伊豆半島殺人行

私が読んでいるのは46冊。草野全作品の半分。短編集は、出版社によりさまざまな形があるので、正確な冊数は把握できていない。初期の作品にも未読がかなり残っている。『火刑の女』『北の魔坑』『女相続人』など。